

札幌都心地域 外国企業・高度外国人材を呼び込むための地域戦略（案）

背景・目的

- 北海道全体の人口減少
⇒ 道内需要に依存した札幌経済の縮小・市民所得減少
- 生産年齢人口減少 ⇒ 将来の札幌経済を支える人材の不足
- グローバル化の進行 ⇒ 国際的な都市間競争の激化

グローバル化の潮流をチャンスと捉え、市民や企業の国際化を促進し、成長著しい世界の活力を取り込むことで、都市全体の魅力・ブランド力をいっそう高め、国際競争力の向上を図ることが必要不可欠

地域の特性

- 海外での高い認知度とブランドイメージ
- 少ない自然災害
- 冷涼な気候条件
- 多様な文化を受け入れる寛容な気質と、進取の気風
- 自然と都市が共存し、都市インフラが整った良質な環境
- 低いビジネスコスト
- 企業本支店・行政機関・都市機能等の集積
- アジア諸国との交通アクセスの良さ
- 大学などの高等教育機関の集積
- まちづくり会社によるエリアマネジメント活動の蓄積

目指す姿

人と企業が世界中から集まり 創造性と活力があふれるまち

札幌の魅力に惹きつけられた多くの外国の人々や企業が影響しあい、まちの多様性を高め、雇用の創出や人材育成、地元企業の販路拡大による経済活性化のみならず、新たな文化・産業・活力を創出することで、海外ブランド力・国際競争力の向上を目指していく



課題

➤ 海外とのネットワーク、誘致・受入体制の脆弱さ

海外の投資関連機関とのネットワークの構築や、外国企業の多様なニーズに柔軟に対応できる体制の整備が必要

➤ グローバル人材の不足

札幌の国際化や情報化の進展のほか、グローバルな経済活動を支える人材の誘致・育成が必要

➤ 環境整備の遅れ

外国企業が求めるビジネス環境、外国企業の従業員・家族が安心して生活を送ることができる環境の整備が必要

➤ ビジネスの場としてのブランドイメージの向上

観光地としてだけでなく、ビジネスの場としての知名度や好感度を向上させることが必要

施策・役割分担

① 海外とのネットワーク、誘致・受入体制の構築

国や道、ジェトロなど関係機関との連携を強化し、ターゲットとする地域の投資関連機関とのネットワークを構築、営業活動を展開するとともに、外国企業の誘致・受入や、進出企業のニーズに即したサポートのための体制作りを行う。

※主体：札幌市、国、北海道、ジェトロ等

② グローバル人材の確保

グローバル人材としての活躍や、札幌市の国際化への寄与が期待される留学生の誘致などにより、外国企業が求める国際的な視野を持ったグローバルな人材を誘致・育成していく。

※主体：札幌市、大学等



③ 多様な都市機能・生活環境の充実

国際的に通用する業務施設のみならず、公共空間、公共交通のネットワークを充実するとともに、自立分散型エネルギーネットワークの構築等によるBCD*の実現に向けた取組を進める。また、在住外国人のニーズを踏まえ、生活・医療・教育支援を強化するとともに、生活関連情報の発信や案内表示等の機能強化により、外国人でも暮らしやすい環境を整備する。

※主体：札幌市、国際プラザ、民間事業者等

④ シティプロモートによるPR

ターゲットとする地域に対し、シティプロモートを強化し、札幌都心地域の魅力を発信し、企業誘致・人材誘致の下地作りを行う。

※主体：札幌市



*BCD (Business Continuity District)
：災害時に事業継続が可能な地域

ロードマップ

施策	短期 (H26~29年度)	中期 (H30~34年度)	長期 (H34年度~)
① 海外とのネットワーク、誘致・受入体制の構築	ターゲット地域とのネットワーク構築、ニーズ把握	企業誘致・投資受入に向けた営業活動・体制整備	企業誘致・投資受入に向けた営業活動・体制強化
	誘致、受入情報の発信		
② グローバル人材の確保	誘致活動に必要な調査の実施	誘致活動	誘致活動強化
	誘致、受入情報の発信		
③ 多様な都市機能・生活環境の充実	国際水準の業務施設の整備 / 回遊性・快適性を高める公共空間・公共交通等の整備		
	エネルギーネットワーク構築検討	エネルギーネットワーク構築の推進	
	生活インフラの整備 (外国語案内表示等)		
	生活関連情報の発信		
④ シティプロモートによるPR	ターゲット地域でのシティプロモート		
	展示会等を通じた、投資に関する札幌の優位性の訴求		

目 標

上記ロードマップに基づき、海外とのネットワーク、誘致・受入体制づくりを進め、誘致施策を活用した立地企業数を現状の平成 24 年度までの累計 80 社（うち外資系企業数 4 社）から、平成 34 年度には 175 社（うち外資系企業数 10 社）まで増やすことを目標とする。

また、留学生の積極的誘致を展開し、できるだけ多くの留学生について留学終了後に企業とマッチングさせることにより、グローバル化の促進に人材供給面で資することを目的として、現状の市内留学生数 1,800 余人を、平成 34 年度には 3,400 人まで増やすことを目標とする。

加えて、特に人口が多く、将来的な市場規模が大きいと推測される東南アジア地域等をターゲットとし、札幌の認知度を現状の 25%から 60%まで向上させることにより、ビジネスの場としてのブランドイメージの向上を図り、企業誘致・人材誘致の下地作りを行う。